

様式（第5号関係）

会 議 録			
令和2年度 第19採択地区教科用図書 第3回選定委員会			
招集年月日	令和2年7月17日（金）	開会場所	行田市産業文化会館 第2会議室
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7月17日（金） 13時00分 閉会 7月17日（金） 16時10分	司会	学校教育課長
会長	行田市教育研究会長	副会長	中学校校長会長
席次番号	出席の委員	摘 要	
1	行田市教育研究会長		
2	小学校校長会長		
3	中学校校長会長		
4	行田市PTA連合会長		
5	学校教育課長		
議 事 参 与 者			書 記
学校教育課指導主事兼主幹			学校教育課指導主事兼主幹

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	開会
会長	あいさつ
司会	議事に入る。議事の進行については、第19採択地区教科用図書選定委員会要項第9条2項により、第19採択地区教科用図書選定委員長様にお願ひする。
会長	はじめに、第19採択地区教科用図書選定委員会要項第10条により、次第（1）の「協議」は公開、（2）の「選定」は非公開といたしたいと思うが、よろしいか。 【全委員承認】
会長	事務局。傍聴される方は、来られているか。傍聴する方がいたら、傍聴について説明し、案内をお願いします。
事務局	（事務局より傍聴人に説明する。） ※傍聴人規則の説明 ※（1）の「協議」は公開、（2）の「選定」は非公開についても説明し、説明後、第2会議室へ案内する。 （傍聴人着席）
会長	それでは、協議に移る。協議の進め方は、国語から1教科ごとに進めていくことでよいか。 （賛成の意見）
会長	協議に入る。 国語について意見があったらお願いします。
委員 B	国語 ・どの教科書も、新学習指導要領の趣旨に対応した内容のものばかりである。これは、前回事務局からの報告にもあったが、主体的・対話的で深い学びに直結する論理的思考力を身に付けるためにも、言葉に触れる教材は、以前よりも充実しているように感じる。
委員 C	・本市における学力テストの結果から、「読解力の向上」がいぜんとして課題となっている。これは、小学校・中学校ともである。国語はその課題を解決するのに重要な教科である。生徒の様子を見ていると読むことに抵抗も感じているようである。その中で、光村図書においては、「読むこと」への抵抗を少なくするために、教材のあとに、そこで学んだことを生かせる言語活動の教材が配置され、関連づけて活動できるよう工夫されている。
委員 E	・現在本市の小学校で採用されている光村は、中学校の教科書を見ても全体的にバランスが良い。「『学習コーナー』での振り返

委員 D	<p>りが生徒の力になる」と、学校からの報告にもあげられている。その点よいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の読解力、「読むこと」について調査員の報告書では、教育出版の教科書においても、重要な語句や表現を「この教材で学ぶ言葉」としてまとめ、巻末では「理解に役立つ言葉」を設け、語彙の拡充を図る工夫がされていると報告されている。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育出版は、各単元でテーマごとに関連する読書教材が紹介されている。各学年で2つ読書教材として現代的な話題を扱った作品や日本文学作品が掲載されている。併せて、学年ごとに本のポップを作るなど読書活動が1つ示されている。このような読書活動を充実させる工夫は、生徒の読書活動を充実させ、読解力の一助となるのではないかと感じた。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「読解力の向上」がキーワードとして協議されているが、他の視点からはどうか。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を見る時に「資料」の点から各社比較するとその特徴がよく見えてくる。各会社が細かなところまで工夫を凝らして教科書を作成している意図が伝わる。例えば、東京書籍は教材ごとの初出箇所には振り仮名が付けられており、生徒が漢字に読み慣れることができるように配慮されていたり、三省堂は、適宜挿入された資料「読み方を学ぼう」によって、「人物相関図」「三角ロジック」「要約」「人物設定」「図表と文章」など、読みの方略を幅広く取り上げていたりしている。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・私もそういった視点で教科書を拝見させていただいた。各社とも、生徒の学習のことをよく考えて作成している。光村図書は、「思考の地図」や「情報整理のレッスン」のように、多様な表、グラフ、マップなどの資料を活用できるようになっていた。また教育出版は、本文と脚注など内容のまとまりを明確にして、文字と、イラストや図表、模様などとの空きや重なりに注意して、マークやデザインの使用を統一的に整理されていた。
会長	<p>他に国語について、意見はあるか。なければ、次に移る。 次に、書写について意見があればお願いします。</p>
委員 E	<p>書写</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育出版では、毛筆手本の中心を記号で示し、筆使いのポイントが記号、点線、濃淡、穂先の図で示され、筆順も併せて示されており、目標や振り返りなどの学習の手順をマークで示している。振り返りでは、評価のポイントを示している。その他の学習のポイントがキャラクターや生徒モデルによって示されていると報告があった。技能教科では、教科書において、手順やポイントなどを示すことは大切であると感じる。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・光村図書は、毛筆等の基礎がわかりやすく書かれており、始筆・送筆・終筆の筆使いや筆圧、点画の連続や省略が丁寧に掲載さ

委員 D	<p>れていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光村図書の報告書には、その他の視点で、二次元コードで運筆や学習に役立つ動画を見られるようになっている。と報告されていた。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・教育出版でも、QRコードとURLが示され、アクセスすることで、毛筆教材の運筆動画を見て、字形の取り方等を確認することができる。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・三省堂も二次元コードを利用することで、姿勢と用具の持ち方や毛筆の持ち方などの内容を、確認することができ、東京書籍においても「D動画でチェック」マークのある教材では、教科書に掲載されている毛筆教材について書いている様子を撮影した動画が見られる工夫がなされている。と報告されている。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・よい手本を動画として確認できる点では、各社とも工夫がなされていることがよく伝わる。
委員 A 委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・動画は、この3か月間で貴重な教材、教具と思った。 ・加えて、写真資料などが多く提示されているかどうかについても確認する必要がある。教育出版は、「全体的に写真資料が多く提示されている」と報告にあった。また、書写は文字を書く学習に主眼を置いているわけだが、道具の扱いについても学校では指導を行っている。片付けについての記載や道具の扱い等についての学習効果という視点も大切であると感じる。
会長 委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・他にいかがか。 ・学校からの報告に、3年間で、楷書、行書が段階的に学べるよう練習帳としての機能が大きい。この「3年間」というキーワードが大切で、小中で系統性ある学習指導が徹底できるよう教科書の重要性は改めて高いと感じる。
会長	<p>他に書写について、意見はあるか。なければ、次に移る。 次に、社会について意見があればお願いします。まずは、地理的分野から。</p>
委員 E	<p>社会（地理的分野、歴史的分野、公民的分野、地図）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍は、各単元（章）の導入部に、小学校社会科で学習した内容を振り返る活動を設けることで小学校の学習から中学校の学習へと円滑に接続できるようにしているのが特徴的であると感じた。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍の報告書では、難解用語には巻末に説明が記述されている。資料部分と本文が色分けされている。各地域のテーマが見開きページでわかるようになっている。と報告されていた。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな教科で様々な教科書を見ているが、分かりやすさだけが教科書の特徴なのかどうかと思った。あえて、シンプルなものにして、生徒に考えさせるようにしかけるような視点も

委員 D	<p>教科書には必要なのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そういった視点から私も見ていた。教育出版では、導入をもとに学習課題を設定し、その解決を目指した学習活動を行い、まとめ・振り返るという学習の流れに沿った教科書構成となっており、学習の流れを大切にしていると感じた。また、生徒の興味・関心を喚起するコラムが数多く掲載されている。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的な分野では、地図などとリンクしながら学習を進めていくことも多くなるし、また、現在世界や日本の国土で起きているタイムリーな話題を扱う。さらに教育出版では、防災の視点が随所に見られ、災害国日本に暮らす私たちの問題意識を持てるようにしていることが学校からの報告に見られた。
会長	<p>他に地理的分野について、意見はあるか。なければ歴史的分野。</p>
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・過去採択があった際の資料等をひも解くと、歴史を学ぶ楽しさ、教養としての基礎・基本を身に付けさせていくことの重要性が議論されていた。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に移行し、「主体的、対話的で深い学び」がクローズアップされ、歴史的な見方・考え方を働かせながら学習していくことが示された。こういった学習を行うには、特に社会科は知っていないと議論もできないので、前提として、知識や技能の基礎基本を身に付けることが必要である。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・私もそのように思う。東京書籍は、過去の報告において、「基礎基本の知識技能を身に付ける『歴史スキルアップ』や知識を確認する学習の確認コーナーが設けられており、着実な定着を図る工夫がなされている」とあった。今回の報告においても、「学習に必要な技術を身につけさせる「スキル・アップ」を「集める」「読み取る」「まとめる」の三つの側面で設け、発達段階に応じて歴史学習に必要な技能を定着できるようにしている」と報告があり、引き続いて、歴史における、知識・技能の習得の重要性が伝わってくる。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・史実として、学ばせることはしっかり学ばせる。習得させるという点で、歴史教科書の必要性は高い。他にはいかがか。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・これは、意見になるが、帝国書院の教科書には、「タイムトラベル」で庶民の生活から歴史を考えさせる工夫がなされている。中央集権的な視点からみる歴史だけではなく、違った視点から歴史を見て考えさせる機会を与えている点に興味をもった。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史は、常に流れている。その時代の特色を捉えたり、世界の中の日本、日本が世界で果たしてきた役割などを示したりして、歴史の流れを大切にした歴史事象の見方・考え方を丁寧に記しているという点では、山川出版も印象に残った。ま

	<p>た、学び舎は、県の報告から誰もが個人として尊重し合える社会について考えを深められるように配慮されている。とあった。</p>
<p>会長</p>	<p>他に歴史的分野について、意見はあるか。</p>
<p>委員 C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回目の選定委員会の時だったか。会長さんが、「社会科、特に歴史については、授業において資料が一番の命となることから、資料についての特徴はどうか」とお聞きになっていた。改めて申し上げるが、歴史の教科書については、全てどの会社も資料が充実しており、甲乙つけがたいという印象であることを改めて付け加えておく。
<p>会長</p>	<p>他に歴史的分野について、意見はあるか。なければ公民的分野。</p>
<p>委員 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回目の選定委員会では、公民的分野について、思考力・判断力・表現力等を養う工夫。また、課題解決的な学習といった視点で多くの話題や質問があがったと記憶しているが。他の観点からでも結構。ご意見等いかがか。
<p>委員 C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校からの報告に、東京書籍や育鵬社において、資料や課題が豊富でよい。という報告があった。
<p>委員 D</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題が豊富過ぎてしまうと授業で先生が教えることにぶれが生じる原因になるのではないか。
<p>委員 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を提示する際に、視点が多様であるという意味であると思う。加えて、教育出版は、構成がシンプルで生徒が見やすい作りになっている。と報告されていた。
<p>委員 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの教科書においても、現代社会における今日的な課題にもしっかり触れられていると感じた。学校や調査員からの報告書においても、同様のことが報告されていた。
<p>会長</p>	<p>他に公民的分野について、意見はあるか。なければ、地図。</p>
<p>委員 E</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の協議でもあったが、地図帳の使い方・読み取り方・活用の仕方が丁寧に指導されているのは重要だと感じる。先生の指示があってから、地図帳を使うのではなく、調べる際の重要な資料として主体的に使える生徒を育成したい。そういった意味で、帝国書院は積極的な活用を促す工夫が見られる。
<p>委員 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の協議では、東京書籍において、歴史的分野や公民的分野の学習で活用できるページや資料を随所に掲載し、歴史・公民マークを付して明示することで、3年間の社会科学習全体で活用できるようにしている。と話題がでたが、帝国書院も他の分野との連携が見られた。

委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・地図なので、当然目にとびこんでくる見やすさ分かりやすさ、調べやすさなどは求められてくる。調べ学習などをする際、どちらの会社についても色合いやコントラストなどそれぞれの良さがあった。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの報告をみると、東京書籍は、主題図や写真、統計資料等が多く、資料集としての活用もできる。また、帝国書院は、大きくはっきりしていて、視覚的に見やすい。といった視点で報告されていた。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・これは意見になるが、現在、日本全国で災害が頻繁に起こっている。今年は、すでに熊本県で大雨による大きな被害がでた。行田市でも昨年は、大雨によって避難を余儀なくする事態が起きたりしている。委員 E も発言されていたように、「災害」などを契機により子供たちが防災について意識を高めていくことができるように自ら主体的に地図を広げて見ることができるような地図帳がよいと感じる。
会長	<p>他に地図について、意見はあるか。なければ、次に移る。 次に、数学について意見があればお願いします。</p>
委員 C	<p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市だけでなく、学力の向上に向けて取り組んでいくことはどこも同じであるが、数学は特に小学校からの系統性が大切になってくる教科書である。それぞれの教科書の難易度という観点から各教科書を見ていたが、どの会社もさほどばらつきはないような気がした。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・この度中学校 3 年生から 1 年生へ移行した「素数」の扱いについて各社の対応が興味深い。例えば、東京書籍は第 0 章として独立させていたり、教育出版は第 1 章として独立させて学ばせたりしている。つまり、1 年生始めの単元で学習させるところに特徴を感じる。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・その視点で私も教科書をみていた。つまり「素数」から「正負の数」といった順番で学習させるというながれになる。先程委員 C が発言した「系統性」から考えると、学習内容をどういった順で学ばせていくことがベストなのかを考えることも必要だ。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の生徒の学力の実態などを考慮するということが。確かにそういった観点も大切。本市は、義務教育学校がスタートする。このこともこれから教科書を選定する上での重要な視点である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはいかがか。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、「数学的活動」という観点から各会社の教科書について話題があったが、生徒の疑問を引き出し、学習のめあてや課

	<p>題を明確に設定し根拠を明確にして互いに話し合う活動を充実させることができるつくりになっているかどうかなども確かに大切である。しかし、本市の生徒の実態をより捉えることも必要なのではないかと思う。</p>
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> • 本市の生徒の実態を捉えるとはどういうことか。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> • 適用問題の充実度についてはどうかという視点である。まとめからふりかえりにかけて、本当に学習したことが身についたかどうかを適切に見取ることができる適用問題の精選がされているかどうか。ということも大切である。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> • 学校からの報告には、例えば啓林館、「生徒の習熟度に応じての学習支援がしやすいつくりになっている」や東京書籍「章末問題において、発展問題等が充実している」などの報告がでている。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> • 調査員の報告についても、東京書籍であるが、一問一答式ではなく、記述式の問題に多く取り組ませることで、数理的に考察する経験を多く積むことができる。と適用問題の観点からも、報告されている。
会長 委員 D	<ul style="list-style-type: none"> • 他に数学について、意見はあるか。 • 学習する内容が多くなるのでどの教科書も厚いが、どの会社もだいたい300ページ前後であった。中には別冊を設けているところもあり、教科書の形やページ数などについても確認してみた。
会長	<p>他に数学について、意見はあるか。なければ、次に移る。 次に、理科について意見があればお願いします。</p>
委員 E	<p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> • どの会社も、実験に対する安全面について、配慮がなされていた。注意のマークや朱書きをするなどの工夫が見られたと感じた。小学校理科もそうであるように、どの発達の段階によっても理科は「安全第一」である。学校からの報告書には、図が大きく大変見やすい。内容の構成が実験→理論の流れになっていて探究的な授業を展開しやすい。と報告されている。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> • 大日本図書は、資料集のように写真が多く、生徒が実生活と結びつけながら学習できる工夫がある。図や写真が充実している。と学校からの報告にあり、図や写真、生徒にとって必要感の資料の充実は重要である。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> • 啓林館「みんなで学ぼう編」には、小中の系統性を重視し、スパイラル学習の徹底による基礎・基本の定着と利活用の場面を設定し、思考力が養えるよう工夫されているように感じた。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> • 数学もそうであるが理科も小学校からの系統性が重要視され

委員 E	<p>る教科であると、教科書を見ていて感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改訂により、どの教科もその教科に応じた「見方・考え方」を働かせて必要な資質・能力を養うことになった。理科では、科学的な視点をもって科学的に探究させていくために、各会社で教材の配列や学ばせる順番などにそれぞれの意図を感じた。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍は、教科書の左下に「問題発見」「?」「仮説」「構想」「観察実験」「分析解釈」「検討改善」「!」「ふり返り」「活用」のマークがあり、探究の流れが確認しやすく工夫されている。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心を高める点で言えば、どの教科書会社も日常生活と科学を結びつけた工夫がされており、科学の意義がつかめると感じた。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはいかがか。例えば社会科は、地理、歴史、公民、地図などの分野で教科書が分かれるが、理科は、生物、化学、地学、物理学、など分野が分かれていても1冊の教科書内でまとまっている。そういった視点で、各会社のそれぞれの扱う分野の比重などはどうか。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍は、全学年を通して、生物の分野が多く掲載されている傾向にある。3学年ともにページ数を多く使い、力を入れている。それに対し、物理分野と地学分野は掲載量を減らしており、特に物理に関しては全学年ともに少ない。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・大日本図書は、1学年ではウエイトが低くなりがちな地学分野の掲載を多くしている。3学年の最後に取り扱う単元である、科学分野の割合が大きい。また、学校図書は、3学年の生物分野と自然分野を同一単元に掲載している。意識が一度途切れることなく、同じ流れで学習できるように感じた。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう視点で見えていくと教育出版は、1学年における生物分野のページ数が他と比べて多い。そして、啓林館は、全体を通し、生物分野の取り扱いが少ない。そのぶん、1学年では化学と物理分野に重点を置いているのではないか。
会長	<p>他に理科について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p> <p>次に、音楽について意見があればお願いします。まずは音楽・一般から。</p>
委員 B	<p>音楽（一般、器楽）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育芸術社も教育出版も、巻頭や巻末が工夫されていた。例えば、教育芸術社では、巻頭で、学習内容を表現（歌唱・創作）、鑑賞に分けて学習内容と教材の関連を示し、巻末の音楽の約束では、学習に必要な記号・用語を一覧で示している。教育出版は、巻頭の学びのユニットにおいて、どの曲で何を学習するのかが示されており、目的をもって生徒が学習できる工夫が見ら

委員 E	<p>れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育出版では、楽曲によって「比べてみよう」のページ。「深めてみよう」のページがそれぞれあり、教材をもとに、違いについて話し合う場面が意図的に特設されている。また、教育芸術社では、「深めよう音楽」が新設で、歌唱・鑑賞ともにあり、表に書きこむ形式であった。思考した内容を記述する部分があり、歌唱と創作を関連付けて思考を深める工夫がされている。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・それに加えてというかたちではあるが、教育出版は、「Let's try!」で体験的な活動ができるようになっており、教育芸術社では、我が国や郷土の伝統音楽の唱歌や伝統的な唱歌を歌ったり、リズムを打ったりする体験活動を取り入れ、実感を伴って理解できるように工夫されている。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・教育芸術社は、小学校の教科書もそのように感じたのであるが、教材の配置に学習段階を意識した系統性を感じた。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・一方で私は、教育出版の教科書は、より専門的な情報が多く掲載されていると感じた。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・これは実感であるが、教育芸術社は曲の選択がよいと感じた。わかりやすく、親しみやすい教材が多かったと感じた。
会長	<p>他に音楽・一般について、意見はあるか。なければ、器楽。</p>
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・教育出版は、楽器を図鑑のように示している。運指表やコード表がついており、生徒にとって理解しやすいように掲載されている。また、教育芸術社においては、巻末の折り込みのリコーダー運指表やコード表がやはりとても見やすく工夫されている。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・教育出版では、各学校の報告書から、ギターのコードの押さえ方が1コードずつ写真で掲載され、わかりやすいよう工夫されている。と書かれている。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらも教科書においても、楽器の基本的な技能をわかりやすく説明しており、力を高める工夫が成されていたと感じた。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会に開かれた教育課程」の言葉のとおり、本市の地域性や生徒の実態に一番マッチする教科書を選定していく必要がある、そういった視点で教科書を見ていくと、教育芸術社は、「歌唱、創作、鑑賞の各学習活動との関連にも配慮され、学校の実態を踏まえて取り扱うことができるように工夫されている」と報告にあった。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育芸術社は、現行の流れに沿っているが、曲数が増え、生徒にとって取り組みやすい曲などが多い。と学校から報告されている。また、教育出版は、リコーダーの運指など、授業内で活用しやすい工夫がある。楽曲が多く、生徒の興味・関心を引く。とも学校から報告があがっている。

会長	<p>他に音楽について、意見はあるか。なければ、ここで10分間の休憩をとる。</p> <p style="text-align: center;">【休憩】</p>
会長	<p>それでは、後半を開始する。 美術について意見があればお願いします。</p>
委員 D	<p>美術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議において、やはり美術の教科書であるので、色彩やレイアウトなどにこだわりをもった内容になっているかどうかは重要視するべきであるという話題があったが、学校の報告書にもあるとおり、開隆堂は、鮮やかな写真が使用されていたり、古典から現代アートまで幅広く美しい作品が掲載されていたりと魅力的である。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・加えて、開隆堂は、制作の目標やポイントの表示は相変わらずわかりやすい。2・3年の教科書がまとまっているのは扱いやすい。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・美術は人それぞれの感性が大きく作用される。10人が同じ作品を鑑賞して感じ方や評価は10人とも違う。だからこそ、生徒にとってみれば、一つ一つの作品との出会いや創作活動が大変貴重な体験である。開隆堂は、巻末資料の中にICT機器を利用した作品や表現方法が示され、情報モラルにも配慮していた。光村は、学年に応じた系統的な題材で1～3学年の流れを構築していた。日本文教出版は、題材ごとに3つの柱による目標を示し、指導と評価に活用できるよう工夫されていた。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・各会社ともそれぞれに特徴があり、まさに図工、美術と同じで感じ方がそれぞれである。他にはいかがか。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・あと違う視点から、先程他教科でも出ていた話題であるが、「社会に開かれた教育課程」カリキュラムマネジメントにおいて、どの会社においても、小・中学校の系統性や生涯学習を意識し、題材ごと欄外に他の教科等との関連を意識し、1年の初めに図画工作、3年の終わりに生涯学習との関連を示し、教育課程全体で総合的に「生きる力」の育成につなげられるように工夫されている。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の掲載についてであるが、原寸大を含む数多くの写真・図版・解説が提示されているのはどの会社も同じようであった。日本文教出版は、1ページ当たりの面積をフルに利用して作品を掲載している印象があり、目に飛び込んでくる感覚があった。

委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・私も各社とも資料も適切で大きくわかりやすく感じた。また、各会社で扱う絵の掲載、レイアウトの仕方や種類の違いなども詳しく見ていきたいと思った。内容も充実していることが各学校からの報告書を確認しても伝わってくる。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの報告に、開隆堂は「すっきりとして見やすい構成になっている」とあった。また、市内保護者代表の意見として、同じく開隆堂については、内容が充実していると報告されている。こういった意見も考慮していくことも大切である。
会長	<p>他に美術について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p> <p>次に、保健体育について意見があればお願いします。</p>
委員 E	<p>保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議で、保健についてはこのように教科書が存在する。という話題があったと思うが、改めて教科書というものが、学習を進めていく上で存在するという意義を考えていくことは根本的に必要なことなのかもしれない。本市は応急手当講習会が充実している。過去に事故があったことも事実ではあるが、そのような中で、研修会等で実際に活用させていただいている、さいたま市の事例がある。大修館ではその「ASUKA モデル」についてコラムで紹介されていた。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書においてそのような例を掲載、紹介することで生徒はその事実から学ぶことができる。事故を風化させないことも1つではあるが、事例から学ぶことができるのではないか。そういった点で教科書が存在する意義や役割は、やはり大きいものを感じる。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・特に本市では、中学校2年生を対象とした講習会、3年生のステップ・アップ講習会がある。この流れは、小学校段階でのAED研修会の必要性へと今後ますます拡大していくであろう。だから、本市では応急手当について学ぶ機会が多く設定されているということを生徒へ伝えられるきっかけとなる。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・本市において、本市の生徒が学ぶ意味が伝わる教科書がよい。そう考えていくと、やはり本市が進めている小中一貫での教育の重要性はやはり最重要視される点である。小学校で使用している教科書と中学校で使用している教科書でレイアウトなど内容についても考えていくべきであると感じる。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、小学校で現在使用されている東京書籍は、各学校の報告において、「文字数が少なく、イラストが大きいため見やすい。動画が多く準備されているので授業にも使いやすい」と報告されている。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・調査報告で東京書籍は、「文章、イラスト・写真・資料のバラ

委員 A	<p>ンスがよい。章末資料では学習した知識をさらに発展させることができるものとなっており、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身につけることができる内容になっている」と報告されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どの教科書も資料が豊富でありわかりやすいものが掲載されていて、工夫が成されていたと感じた。大日本図書は、重要語句の「キーワード」を単元最後にまとめ、「ミニ知識」や「リンク」を掲載し、発展的な学習となるよう工夫されていたと感じた。語句の意味を整理することで、その意味を理解させることができれば、より知識や技能も深まる。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> • 各会社とも工夫はされているのであるが、特に学研の教科書は、授業の流れが示され、「ねらい」「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる」「深める」といった学びのサイクルが確立されているため、見通しをもって学習ができるように工夫されていると感じた。
会長	<p>他に保健体育について、意見はあるか。なければ、次に移る。次に、技術・家庭について意見があればお願いします。まずは技術分野から。</p>
委員 D	<p>技術家庭（技術分野、家庭分野）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 技術は作業が多い教科である。その分、美術と同じように特に絵や図、資料などが豊富にしかも見やすくなっている教科書がいいのかなと思う。そういう観点では、QRコードなどは、授業においてその可能性は広がるのではないか。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> • 学校ごとの報告を見ても、開隆堂などは、双方向性のあるコンテンツの実習例が多く、分かりやすい。教科書の題材例を使って、製作しやすい。と報告があがっている。各会社とも、QRコードなどを活用し、関連した資料やプログラムなどを見ることができるという特徴が充実している。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> • 作業を伴う教科の特性から、東京書籍では、巻末にプログラミング手帳があって、わかりやすい。また教育図書は、ハンドブックが別があり、作業の時に使いやすいなど、各会社で資料も充実させているという特徴もある。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス感染症拡大防止の件で、社会では在宅勤務が広がり、第2波、第3波に備えていくとなると子供たちにとっても、在宅学習（家庭学習）が広がっていくことにはないかということに危惧している。そのような中で、特殊な技術指導が求められる技術科のような教科において、実際に動画として見ることができるなどの各教科書の工夫は今後ますます需要が増えるのではないか。今後も工夫して、発展させ、

<p>会長</p>	<p>中身をよくしていってもらいたい。</p> <p>他に技術分野について、意見はあるか。なければ、家庭分野。</p>
<p>委員 E</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東京書籍の実物大写真や多様なデジタルコンテンツ（実習動画・高齢者介助方法等）、防災、減災手帳の付録等の資料はとても充実していて、生徒にとっても学習において興味・関心をひくものとなる。
<p>委員 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育図書は、実習例の注意事項に安全・衛生マークを付し、アレルギー物質を含む食材の代替えや食品例、実習の工夫例や失敗例も掲載している。ことが調査員の報告としてあがっていた。
<p>委員 C</p>	<ul style="list-style-type: none"> 開隆堂についても、実物大写真や多様なデジタルコンテンツ（実習動画・幼児の様子等）が参照でき、基礎縫い動画は左利き生徒にも対応していた。
<p>委員 D</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校などの報告書によると、東京書籍は、プロに聞くなどのマークがあり、楽しく学習ができるように工夫されている。とあった。さらに、1日に食べる量の実物大写真や実験の結果など全体として写真が見やすく工夫されている。と報告されている。
<p>会長</p>	<p>他に家庭分野について、意見はあるか。なければ、次に移る。次に、外国語 英語について意見があればお願いします。</p>
<p>委員 B</p>	<p>外国語（英語）</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度から小学校では、英語が教科化されて教科書についても採択が行われた。また、本市では、平成17年度から外国語活動もやっていて、そういった基礎もある。今年度は、外国語という教科の特性を踏まえ、小中学校で系統性ある学習内容の確実な実施に向けて、本市の生徒に合う中学校外国語の教科書を見ていくことが必要である。
<p>委員 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小中接続の視点では、東京書籍、光村、啓林館は、小学校における既習事項が整理されており、中学校の早い段階で扱うことができ、とてもスムーズな外国語学習への接続が可能となるのではないかと感じた。
<p>委員 E</p>	<ul style="list-style-type: none"> 光村図書は、Active Grammer において、どのような場面において使うのかが分かるように、「場面と意味」という項目を加えている。さらに、「比べてみよう」という項目もあり、生徒にとって理解しやすいのではないかと感じた。文法の取り扱いたくにも、文法事項の説明が丁寧で分かりやすくまとめられている。
<p>委員 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫としては、ど

委員 D	<p>の教科書においても5領域をうまく統合している。特に三省堂は、身近に起こりうる設定になっており、場面をイメージしやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育出版は、英語学習のコツやヒントを掲載しており、即興で話す力をつけられるような工夫を感じる。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・光村は、Speaking 活動の工夫がよい。Story-Retelling では、キーワードを使って自分の言葉で話す。そして、グループでの活動を意識した学習が設定されている。
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・各社ともそれぞれのよさがある。どの会社についても、単元毎の目標設定、ゴール設定や学習の見通しを分かりやすく設定してあるし、4技能5領域が単元毎にバランスよく組み込まれており、題材が多岐にわたり、様々な内容を学ぶことができる。もちろん QR コードについても各社で対応している。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科書を見てきた印象としては、光村図書は、シンプルな会話から、スモールステップで活動に取り組むことができるように設定されている。また教育出版は、小学校1年生で学習する「がまくんとかえるくん」の教材が確認でき、小中の連携を感じる作りである。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの報告に、開隆堂は、ページごとにタスク（課題）があり、何をすることが明確になっている。インプットからアウトプットという構成になっている。扱う英文の量が他と比べて多い。とあった。外国語は、まさしくアウトプットをしながら学びを深めていく教科であると思う。
会長	<p>他に外国語について、意見はあるか。なければ、次に移る。 次に、特別の教科 道徳について意見があればお願いします。</p>
委員 D	<p>特別の教科 道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳が教科化されて数年たったが、やはり教科書のつくりは各会社で目をひくものである。東京書籍や学研は、教科書が大きめでサイズ的に見やすいのではないか。日本文教出版は、道徳ノート付きで、廣済堂あかつきは付録のノートが評価の根拠となるなどのことが市内の学校からの報告ででていた。道徳は、作りを見ても、各社でアプローチが違うと感じた。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的には、道徳の教科化で大切なポイントは、①考え議論する道徳を通して道徳性を育成する観点②現代的な課題などの題材を教材として取り上げる工夫だと考えている。東京書籍は、教材の文章や漫画をよみながら、考えたり思ったりしたことを「つぶやき」欄に書き込み、それを話し合いの材料として活用できるようになっている点が目を引いた。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・同じく東京書籍は、話すことが苦手な生徒でも、心の葛藤を可

委員 D	<p>視化して相手に伝えることができるよう、巻末付録に心情円が設けられており、また、ホワイトボード用紙も付され、話し合い活動で活用できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳にも教科書が存在するようになったことで、様々なしかけが用意され、生徒のうちにもっている考えや思いを周囲の人へ対して発信しやすくなっていると思う。そういった面では、教育出版の役割演技を取り入れたり、日々の体験を想起して話し合ったりすることを通して、道徳的行為や習慣に結びつけるため、「やってみよう」のページなどはよい。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価をする根拠となる資料や様々な教具的な資料、教科書へのしかけ等について、私も各会社で工夫されていると思う。一方で、教科書にはヒントやポイントなどの情報を与えすぎてもいけないと思う。特に道徳は、教材から、自分がどう考え行動するのか。をじっくり考える時間や環境を提供することも教科書の重要な役割であると思う。
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・ もちろんそういった視点も大切である。学研では、「考えを深める4つのステップ」で、生徒が自ら問いを見つけ、課題や問題に対して主体的に向き合える構成となっている。と調査員の報告にあがっていた。
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校からの報告には、学研は「やおやのユニフォーム」などのいわゆる定番教材がある。こういった従来からの題材が多く、扱いやすい内容となっているとあった。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他にはいかがか。
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日的な課題への対応ということで、どの会社も「生命の尊さ」や「いじめ」などのテーマを扱い、現代的な課題への対応もしている。
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・ また、どの会社も、教材ごとに4つの視点が示されていたり、教材ごとに考える視点が具体的に示されていたりして、考えを深めたり、自分との関わりとして考えさせるための活動や記述欄を設け、考え議論する道徳をしっかりと意識したつくりになっていると感じる。
会長	<p>他に特別の教科 道徳について、意見はあるか。</p>
会長	<p>以上、中学校教科用図書について全ての協議が終了した。</p> <p>これより、投票による選定に入る。 ここから先については、非公開とする。傍聴者の方は、退席をお願いします。</p> <p>(傍聴者 退席)</p>

会長	<p>以上で選定を終了する。 事務局。傍聴される方がおれば、案内をお願いします。</p> <p>(傍聴者 入室)</p>
会長	<p>事務局より連絡を願う。</p>
事務局	<p>今回の選定委員会の選定を受け、今月の定例教育委員会にて令和3年度使用中学校教科用図書が採択され、県教育委員会へ報告することとなっている。 その後、各学校へ採択結果を通知する。</p>
会長	<p>質問、意見はあるか。</p>
司会	<p>会長、議事進行、御礼申し上げます。それでは、閉会の言葉を選定委員会 副会長にお願いします。</p>
副会長	<p>以上をもって、令和2年度 第3回第19採択地区教科用図書選定委員会を終了する。</p>